

三重・JA伊勢、町、漁協が協定

1次産業活性化へ一丸



署名した協定書を手にする（左から）西村組合長、清水組合長、上村町長（三重県南伊勢町で）

【三重・伊勢】JA

伊勢は、南伊勢町と三重外湾漁業協同組合と「地域活性化連携協定」を締結した。主な内容は、水産物と農産物の流通促進、水産業者と農業者の後継者確保・担い手育成をはじめとする5項目。協定に基づいて3者が協力しながら1次産業と地域の活性化に取り組む。

同町は、JA管内でも過疎化が著しく、人口減少が課題。人口減少に伴い農業や水産業などの1次産業の就業者も減っていることから、産業の活性化が急務となっている。これを受け、町が主体となりJAと同漁協に連携を呼びかけた。

8月上旬に町役場で

開かれた協定締結式には、上村久仁町長、JAの西村隆行組合長、漁協の清水三千春組合長らが出席し、協定書に署名した。

西村組合長は「以前から町とは災害時の物資供給に係る協定など

を結んでいる。昨年度は町の支援を受けて移動購買車を導入した。協定の5項目で3者が連携・協力し、これからの町の1次産業を盛り上げていきたい」と話した。

上村町長は「今回の

協定を通じて、地域課題の解決や地域の活性化に向けて共に取り組んでいけることをとても心強く感じている。今後は町民の安心安全な暮らしの実現のため、互いに連携を進めていく」と強調した。